

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。

2019
03
2019年2月 第210号



2日間の前期試験が終わり、ホッとしている前の3人!(カンボジア孤児院)

皆さまの尊い御支援、御協力、いつもありがとうございます。

三月になり、処によっては春を感じる季節となりましたが、私の居住する北海道は、まだ大雪の心配が残る時期でもあります。

特に、地元の諺として、卒業式の時期は(天候が)荒れる、と言われております。大雪になったり、吹雪になったりと地元民でも大変です。

私共の孤児院は比較的暖かい地域にあり、子供たちは雪など知らないし、見たことも無いようです。それ故、雪を見たら喜ぶだろうな、と思うことがこの時期よくあります。

その子供たちの孤児院ですが、進学のための費用や、孤児院の運営のための費用等、様々な必要に迫られております。

確かに、毎月の運営費だけではほぼ限界に近く、当然、増額を訴えてきております。

そのため、子供たちの成長と共に、新たに子供たちを受け入れるためにも、是非皆さまの御力を、とお願いするばかりであります。

どうか、皆さまの御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

雨季が明けたこの間にと壊れてしまっていた遊具と物干しの修理を行いました。遊具を設置当初、子ども達は大喜びでしたが、年齢差や体重差もあり、思った以上に早く壊れてしまいましたが以前に提供していただいた遊具があったのでそれを差し替えて再設置することが出来ました。物干し竿は、強風のため、壊れてしまい、しかし、新たに採用したドライバーの男性スタッフが、溶接機材などを持っていて、丁度良いタイミングで助け手が与えられて本当に助かりました。また、台所もタイルが古くなりガス台を置いている所が割れてしまいました。修理業者を呼ぶつもりでしたが、器用な男の子達が、自分達でやってみるからと修理に取り掛かりました。以前使って残っていたタイルやレンガなどがあり、修理するのに役立ちました。2日間の作業で、台所には再びガス台を置けるようになり、子ども達がいろいろな経験や体験を通して、技術や方法を身に付けている事がわかり、大変嬉しく思いました。



台所を修理してくれた男の子達

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピンの子どもたちへのご支援を心から感謝致します。

2月13日には、子どもたちの学習状況を見るために、教育省による12年生に向けた全国学力テストが各学校で行われました。

2018年～2019年の学年も、残すところ7週間余りとなりました。

皆様のご支援により今年度も子どもたちが学校での勉強を続けることが出来ました。

ご支援頂いた皆様に心から感謝致します。

来年度は40名～50名の子どもたちを支援する予定です。

4月の半ばには学校の登録が始まります。

来年度も子どもたちが学校へ行き続けることが出来るように、皆様のご支援をどうぞよろしく願いいたします。



スタッフのグレイスと子どもたち(学校で)

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の常日頃のご支援に、心より感謝申し上げます。隣国ジンバブエではガソリンの値上がり(30%)があり、それを契機に大規模な暴動が起きて、相当数の死傷者が出ました。ザンビアでも昨年20%ガソリンが上がりましたが、混乱もなく、いたって平和なのはザンビアの良さなのでしょう。孤児院には国から監査が入り、対応に大わらわでした。トイレの数等いくつかの改善が示され、早急な対応が求められました。NGOとしてのスタンダードが、非常に高くなってきているように思っています。同時に、警察によるストリートチルドレンへの取り締まりも厳しくなって、捕まえ次第、強制的に様々な施設へ移送していますが、ストリートチルドレンへの対応を訓練されていないスタッフによる暴力も多いとの事で、逃げ出してストリートに戻る子どもが多いのが現状です。今年、もう一歩進めようとしているのが、2～5千万円程の予算で土地の購入です。孤児院ハウスと学校、職員宿舎、カウンセリングルーム、運動場の建設を目指し、より多くの孤児の救済を進めていける事を願っています。どうぞ皆様のご支援を宜しくお願い致します。最後に、念願だった車両の購入ができました!ご支援、心より感謝致します!



孤児院の木の实を食べる子どもたち

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。新しい住まい探しをしていましたが、シェアハウス近くにワンルームアパートが見つかりました。必要な物がコンパクトにあり、バスターミナルから7-8分、スーパーから3分ほどと便利です。新しい環境に慣れるために今調整中です。先週、炎天下を日よけのために傘をさして歩いていて、車を通り出して洗車していた方のガレージの扉が半開きになっていたのに気づかず、頭を打っておでこを切ってしまいました。幸いにして、その方の奥様がスポーツ選手のケガなど治療のセラピストさんで、応急処置をしてくださり、休んでいる間に色々とお話することが出来ました。血が止まったので帰ろうしたら、車で送ってくださり、連絡先を聞かれました。傷はだいぶ治ってきています。怪我の功名で、近所にお知り合いができました。前回ブラジルのストリートピープルについてお話ししました。また、現在ベネズエラの経済危機により、ブラジルに10万人(うち3万人の子供)のベネズエラ人が助けを求めて越境してきているとの情報があります。多くの必要があります。これからもどうぞご支援をよろしくお願い致します。



2階の角部屋に入りました